

ホンダモビリティランド株式会社

鈴鹿サーキット

「木づかい宣言」

令和5年4月 ～ 令和8年3月

鈴鹿サーキットは、1962年に日本初の本格国際レーシングコースとして産声をあげ、日本のモータースポーツ普及に貢献してきました。

我々、ホンダモビリティランドは、これまで鈴鹿サーキットを運営するなかで培ってきたノウハウを結集し、未来へ向け、より豊かなモビリティ文化を創造することで「喜び」「楽しさ」「感動」を広く社会に提供し続ける企業でありたいと考えています。

今回の木づかい宣言では、鈴鹿サーキットのリゾートやパーク内の施設に三重県産の木材を使用していくことで、子供たちへ木のぬくもりとともに地元木材の「魅力」を伝え、地域の活性化や森林の保全・育成等に貢献したいと考えています。

下記施設の整備予定箇所にて県産材を使用します。

実施予定箇所：「LODGE」客室内ベッド
所在地：三重県鈴鹿市稲生町7992
実施予定時期：2024年春

下記施設に県産材を使用していることを、鈴鹿サーキットを訪れたお客様に紹介することにより県産材をPRします。

鈴鹿サーキットホテル The Dining

施設名：レストラン「The Dining」
県産材使用箇所：内装およびシェフズカウンターの一部

鈴鹿サーキットパーク「チララのハローガーデン」エリア

施設名：チララのフラワーワゴン（アトラクション）
県産材使用箇所：駅舎の壁面や車両ボディ

施設名：ぶんぶんのパンケーキやさん（ファミリー向けレストラン）
県産材使用箇所：テーブル・椅子、カウンター等の家具類、看板

施設名：ポタジェンヌ（アスレチックアトラクション）
県産材使用箇所：外壁材
使用量：4.91㎡



「ポタジェンヌ」全景